

イベント案内・お知らせ

毎月第3土曜日開催 「ものしり化石塾 in アキシマエンス」

お手持ちの化石を調べるお手伝いを、学芸員がいたします。多摩川で採れた化石をお持ちの方、昭島の自然史についてご質問がある方、ぜひご来場ください！化石に関するクイズコーナーもあります。詳しくは郷土資料室までお問い合わせください。

今回は2月19日開催予定

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、開催日等が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

展示・開催中 ミニ展示：昭島の人々から見た戦争 1941-1945 & ギャラリートーク

○昭島で暮らした人々が残した戦争に関連する資料を展示します。

開催期間：令和3年12月7日（火）～令和4年2月27日（日）

展示資料：戦地からの絵はがき、空襲に関する資料等

○ギャラリートーク

開催期間中の日曜日に、展示資料について、担当学芸員が解説いたします。

開催予定日（申込不要）：1月（9日、16日、~~23日、30日~~）、2月（~~6日、13日~~、20日、27日）

時間：午後1時から10分程度

参加方法：開始5分前までに郷土資料室入口付近までお越しください。

新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置期間中、ギャラリートークを中止します。楽しみにしていた方には申し訳ございませんが、ご理解とご協力のほどお願いいたします。

お知らせ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご協力をお願い致します

- ・37.5℃以上の発熱や体調不良の場合はご来場をご遠慮ください。 ・施設入口での検温をお願い致します。
- ・ご入室の際はマスクを着用いただき、手・指の消毒にご協力をお願い致します。
- ・密になるのを避けるため、入場制限を行う場合がございますので、ご了承ください。
- ・展示内容やイベント内容、開室時間、開館日など、新型コロナウイルス感染拡大状況により、変更となることがございます。予めご了承ください。最新の情報はホームページをご覧ください。お電話でもお問い合わせください。

郷土資料室利用案内

- 開室時間**
 - *郷土資料室 火～金 午前10時～午後8時 土・日・祝 午前10時～午後6時
 - *郷土資料展示室 火～日・祝 午前10時～午後5時 郷土資料展示室見学の際は郷土資料室スタッフにお声がけください。
- 休室日**
 - 月曜日（祝日の場合は、翌平日）、年末年始
- お問い合わせ**
 - *昭島市郷土資料室・郷土資料展示室
 - 住所 〒196-0012 昭島市つつじが丘3-3-15アキシマエンス内
 - TEL 042-543-1523（市民図書館共通）
 - FAX 042-542-8002（市民図書館共通）
 - ホームページ https://www.akishimaensis.jp/guide/heritage_list.html
 - *昭島市教育委員会 生涯学習部 社会教育課 文化財係
 - 住所 上記に同じ
 - TEL 042-519-5717
 - FAX 042-519-7456



- * JR 青梅線昭島駅北口より徒歩10分
- * JR 青梅線中神駅北口より徒歩10分
- * 立川バス(昭21・22・23・24・26系統)「昭島市民会館」より徒歩5分
- * Aバス 北ルート「アキシマエンス」下車すぐ

編集後記

新年明けましておめでとうございます。本誌も4号目を迎え、春夏秋冬がすべて揃いました。来年度も郷土資料室の活動をはじめ、昭島の自然、歴史、文化を市民の皆様が発信していきたいと思っています。今年も郷土資料室をよろしく願います。

（学芸員 尾崎）



昭島市郷土資料室だより

ものしり化石塾 in アキシマエンス



Vol. 4



昭島市郷土資料室にてミニ展示「昭島の人々から見た戦争 1941-1945」を開催しています。戦争期を生き残った人々の生活をしめす貴重な資料を是非ご覧になってください。

撮影：学芸員 鈴木

目次

* 特集記事

- ・ ～ミニ展示：昭島の人々から見た戦争 1941-1945 展示資料～戦争当時の「手紙・絵はがき」・・・p.2

* 郷土資料室トピック

- ・ ～郷土資料室化石コレクション～多摩川で採れる魚の化石 ①……………p.3

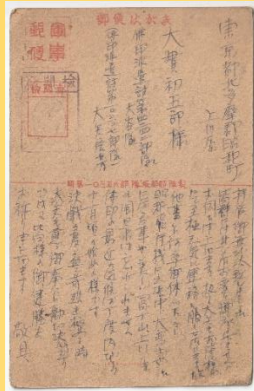
* イベント案内・お知らせ

- ・ 郷土資料室利用案内……………p.4

～ミニ展示：昭島の人々から見た戦争 1941-1945 展示資料～

戦争当時の「手紙・絵はがき」

昭島市郷土資料室では、12月7日（火）よりミニ展示「昭島の人々から見た戦争 1941-1945」を開催しています。今回は展示中の資料から2点の「絵はがき」（軍事郵便）を紹介します。いずれも、昭和の戦争期を生き残った人々が残した貴重な資料です。（学芸員 鈴木）



「拝啓 ご無沙汰致しました。皆様には其の方お変わり御座居ませんか。お伺い申し上げます。扱（さ）て大矢もお蔭様にて至極元気に軍務に服し居ります故、他事乍（ながら）何卒御休心（石？）下さい。昭和飛行機に出張中、大変お世話になった事や、美しい富士山上川原の風景は忘れられません。佛印の最近の気候は丁度内地の十一月頃の始めの様です。決戦の度益々苛烈を極める時、大矢も愈々（いよいよ）御奉公に勵む決心です。では又皆様の御健勝をお祈り申し上げます。 敬具」

図1 佛印から届いた手紙

「佛印」に派遣された大矢信芳から昭島（昭和町上川原）の大貫初五郎宛に出された手紙です（図1）。「佛印」とはフランス領インドシナのことで、現在のベトナム、ラオス、カンボジアにまたがる地域です。この手紙がいつ、どこから出されたのか詳細は分かりませんが、日本が佛印に進駐した昭和15年（1940年）と昭和16年（1941年）の頃に出されたと考えられます。



「拝啓 長らくご無沙汰致しました。その後皆様には、別にお変わり御座居ませんか。自分も相変わらず元気で張り切っております。御安心下さい。内地も雨が二週間降ったり雲ったり致したそうだが、農作物に別に変わりもない事と思います。当地も日一日と暑さお加えしてきました。日中草お取りますと、一時間ほどで葉がカリ々として来ます。早セミの声を聞いております。夏となる様子。家中暑さに負けず元気で働き下さい。 皆様の御健康を祈る。」

図2 中国から届いた絵はがき

中国から、同じく大貫初五郎に出された絵はがきです（図2）。こちらの絵はがきも年月日や出所は正確には分かりません。ただ、検閲の通過を示すスタンプには「田浦隊」と記されており、これを支那駐屯歩兵第1連隊長である田浦竹治大佐の部隊であるとする、彼の在任期間である昭和16年（1941年）8月～昭和18年（1943年）8月の間に出されたと推定できます。故郷の農作物の出来を気にかける文面は、農家出身兵士のはがきによく見られます。牛を使って物資を運搬する笑顔の兵士の絵からは、牧歌的な雰囲気が伝わりますが、文面、絵ともに検閲を通過したものであることは考慮すべき点であると思います。

参考資料：秦郁彦，1991，日本陸海軍総合事典．秦郁彦編，東京大学出版会；柘植久慶，1995，軍事郵便物語，中公文庫；山口ひとえ，2007，百七通の軍事郵便，文芸社

～郷土資料室化石コレクション～

多摩川で採れる魚の化石 ①

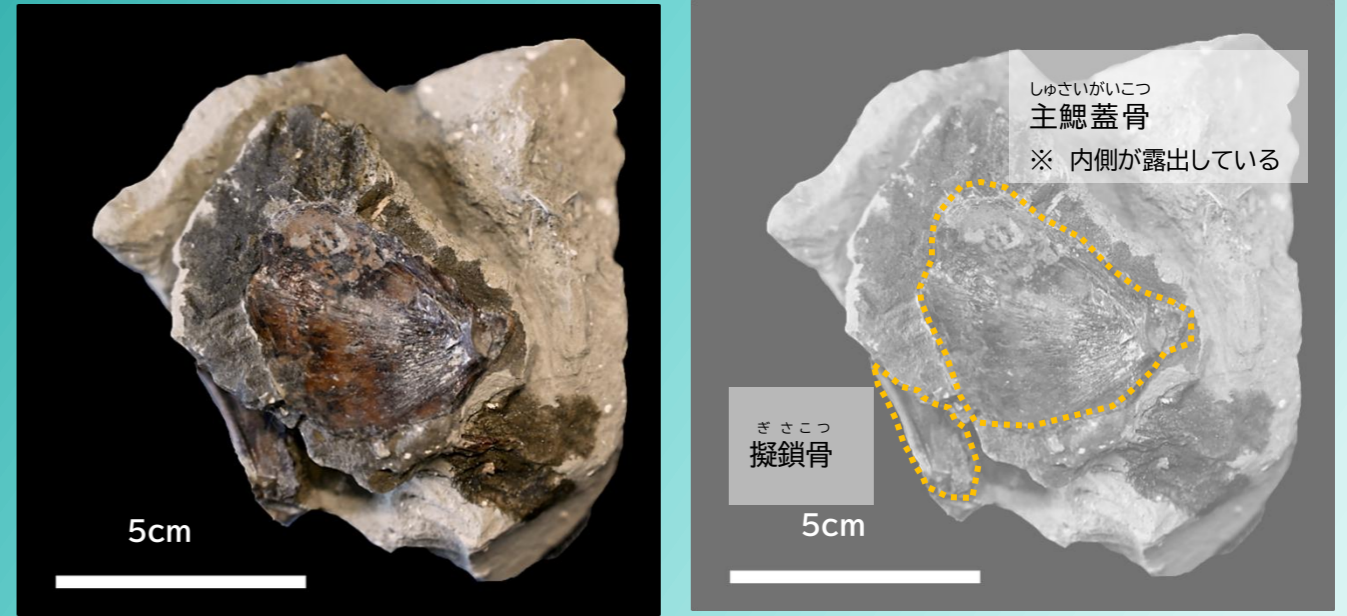


図1 ボラ目(魚類)の主鰓蓋骨化石(LMA-F4-3)

筆者によって2020年12月14日に多摩川で採取した前期更新世（約140万年前）のボラ（魚類）の化石です（図1）。見つかった化石は「主鰓蓋骨」というエラの骨の一部と「擬鎖骨」という胸ビレの付け根にあたる骨が岩石の中に含まれています。産出した化石は断片的でしたが、専門の研究者と共同で調査をすすめた結果、ボラ目の左鰓蓋部の化石であることが推定できました（図2，尾崎ほか，2021）。現在のボラが東京湾のような浅い海で群れを成して生活しているように、発見地はかつて浅い海だったこと、今の日本近海で馴染みの深い海の魚が140万年前頃に生きていたことを示す重要な標本です。昭島市郷土資料室では、このような貴重な化石標本に収蔵番号（LMA）をつけて適切な保管と活用に努めています。（学芸員 尾崎）

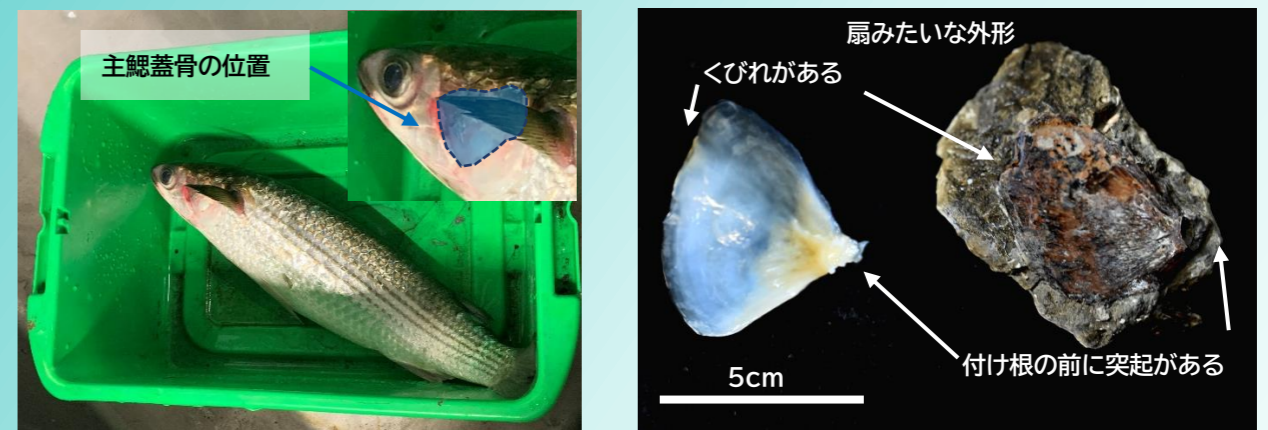


図2 現生のボラを用いた研究の様子

研究では、現在生きている海の魚と見比べながら種類を調べました。その結果、体長40～50cm程のボラの主鰓蓋骨とよく似ていることがわかりました。

参考資料：尾崎ほか，2021，日本古生物学会2021年年会予稿集，p.14